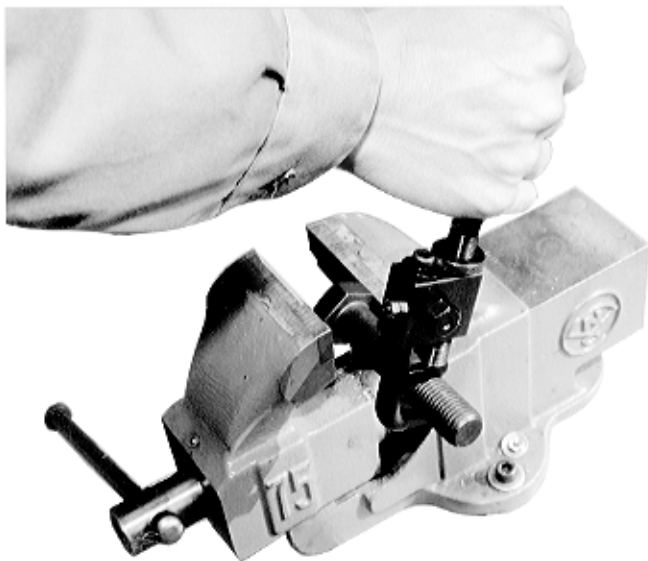


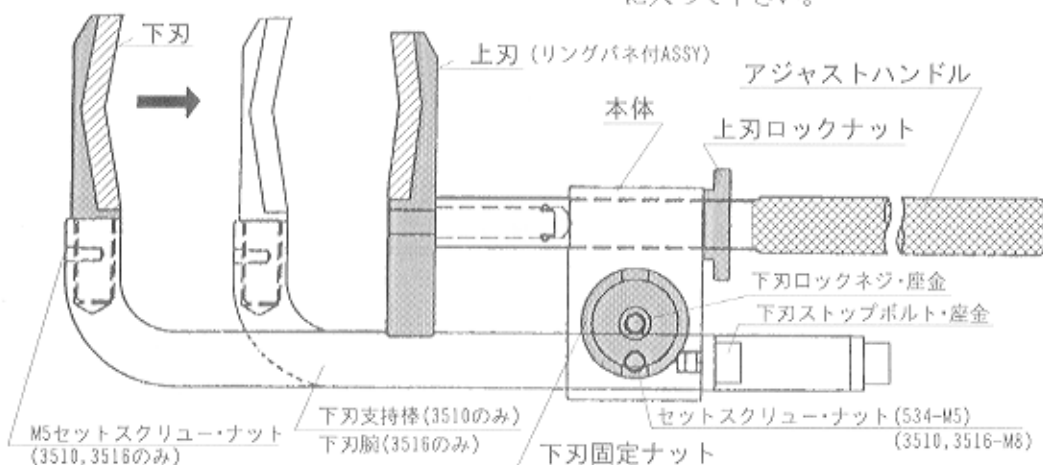
ネジ山修正器・H S A Tシリーズ 取扱い説明書

型 式	適応ネジ(谷)径
H S A T-534	5mm~34mm
H S A T-3510	35mm~100mm
H S A T-3516	35mm~160mm

- 1, 上刃ロックナットと下刃固定ナットをゆるめて、下刃が首を振れる状態にしておきます。そして、修正するボルトのネジ山へハンドルを調整して、上刃と下刃が同じネジ山(0.5Pの距離)で噛み合い、ネジ山の谷に軽くあたる所まで縮めて下さい。
- ※ネジ山のつぶれている位置にセットしないで下さい。
 ※アジャストハンドルを強く締め過ぎて修正すると、ネジ山が立ち過ぎて径が太くなる事があります。
 ※修正するネジ部には、モリブデン等のグリスを塗布して下さい。
 ※下刃固定ナットをゆるめても下刃が首を振らない時は、固定ナットを手で軽く叩いて押し込んで下さい。



各部名称・3510, 3516ご使用時の注意



作業に入られる前に…

- ・適応するネジ径の範囲でご使用下さい。
- ・新たなネジ山を作る事はできません。
- ・硬度8 T以上のネジには使用しないで下さい。
- ・刃は消耗品です。



- 2, 上刃ロックナットと下刃固定ナットをしっかりと締め付けて下さい。(534は14mmスパナで、3510, 3516は、固定ナットの2ヵ所の溝にスパナ等を入れて締める)そして、修正するボルトを固定し、ネジ山修正器自身をゆっくりと回転させて下さい。(特に傷んでいる部分は、何度か回転させます。)
- ※この時、本体をこじめるような力は絶対にかけないで下さい。刃先の欠ける原因となります。
 ※ホーシング等キー溝のある場合は、刃先が逃げないように、溝に鉄板等を敷いて下さい。
 ※3510, 3516で、小径ネジの作業をされる場合、下刃自身を上刃側に引き寄せて、ネジ径に合わせて調整した上で、下刃固定ナットを締め付けて下さい。その後、アジャストハンドルを再調整し、上刃ロックナットを固定し作業に入して下さい。